

定例調査

北陸の産業天気図

自主調査

企業はどのようにSDGsに取り組むか 第2回
～SDGs実践による経営課題への取り組み～

チャレンジ

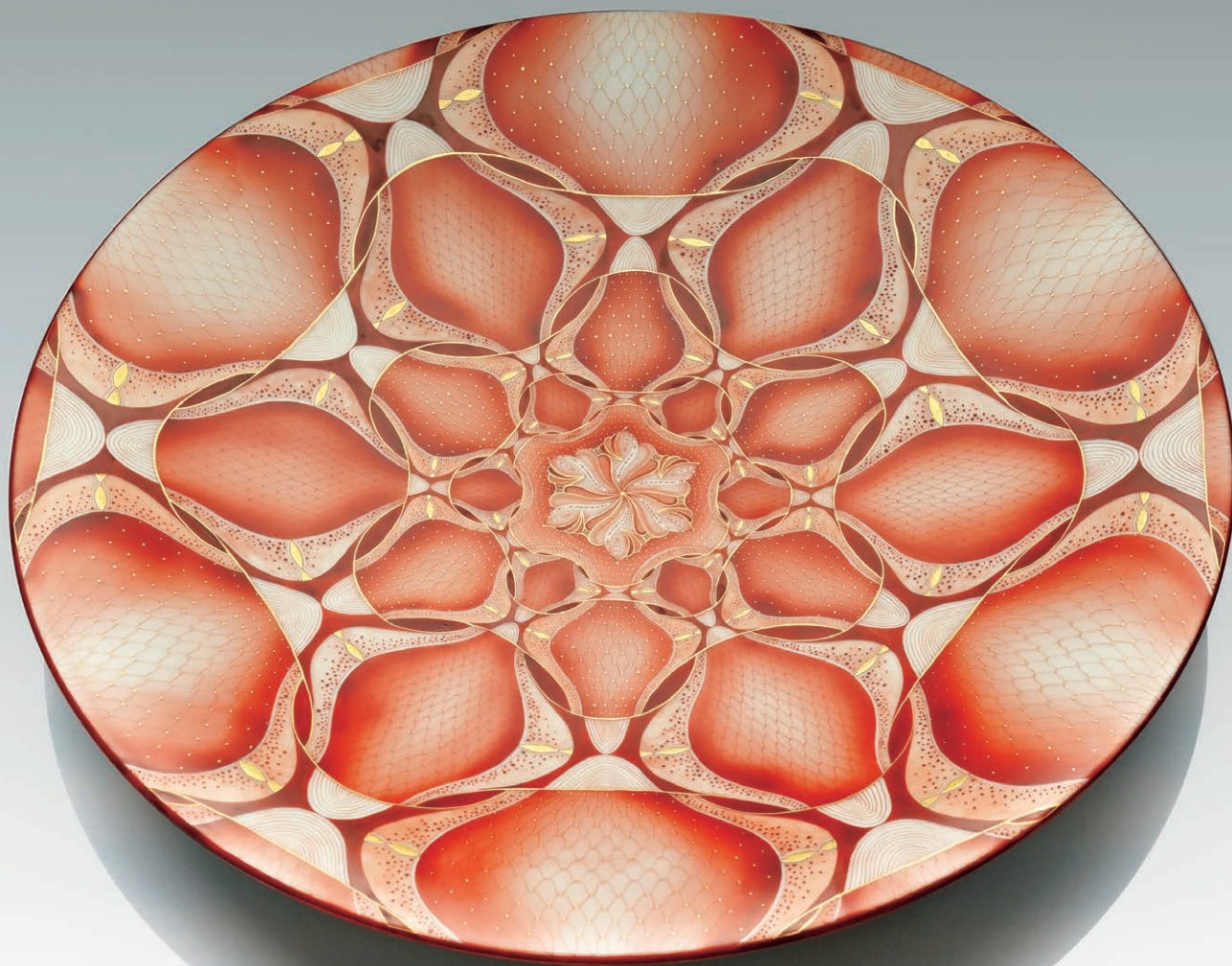
株式会社タニハタ

企業紹介

株式会社TOP

【九谷焼】飾皿「暁^き暁^き」

赤絵の濃淡によって緻密に描かれた美しい文様と
アクセントの金彩が華やかな作品。



緻密な赤の線で描く煌びやかな世界

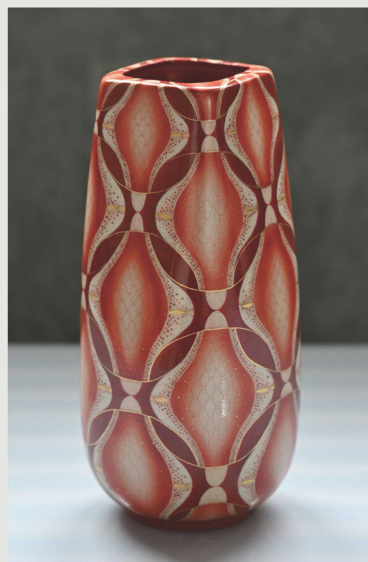
く たにやき 九谷焼 × よしむら まり 吉村 茉莉 [石川県金沢市]

にじみにくい赤絵の具の特性を活かし、器全体に細かい描き込みを施す九谷焼の伝統技法「赤絵細描」^{あか え さいびょう}。高い技術が要求される緻密な絵付けと、金彩をあしらった華やかな文様の取り合わせが特長と言われています。幕末から明治期に隆盛をみせた赤絵細描を現代によみがえらせた福島武山氏に師事し、現在、若手作家として注目を集める吉村茉莉氏。赤絵細描の世界に一目ぼれしたという吉村氏は伝統を受け継ぎながらも、その時々で出会った言葉や景色など暮らしのなかの様々なところから受けたインスピレーションを独自の感性でデザインし、赤絵の魅力を伝えています。1本1本丁寧に描く線を重ねた作品は、見ていだけでも心が満たされる「心の栄養」になってほしいとの願いを込めて制作しているそうです。



●酒器「étoile(エトワール)」

バレエのチュチュをイメージして作られた酒器。分業化されることの多い九谷焼だが、吉村氏は作品によっては器の成形から行っている。本作は模様を彫り込み、線にさらに立体感を加えている。



●花器「暉暉(きき)」

貂(てん)の毛で作られた極細の筆を使い、1本1本細かな線を重ねて描いていく。緻密に描かれる線の華やかさに驚かされる。

【展示会情報】

「柳井友一 吉村茉莉 二人展」
日程: 2022年11月12日(土)~12月11日(日)
※基本月曜は定休日
場所: 山ノ上ギャラリー
石川県金沢市山の上町25-8(卯辰山中腹)
TEL: 076-251-7411
<https://yamano-ue.com/>



●花器「minamo 錦鯉」

錦鯉やくらげなど、水の中の生き物を描いた「minamo」シリーズ。水面のやわらかな動きが伝わってくる。



●酒器「星華(ほしのはな)」

打ち上げ花火の一瞬をモチーフに制作。器はデザイナーでもあるご主人の柳井友一氏によるもの。

吉村 茉莉

1988年 石川県金沢市生まれ
2011年 石川県立九谷焼技術研修所本科 卒業
福島武山氏に師事
2012年 同研修所研究科 卒業
2015年 金沢卯辰山工芸工房 修了

作家サイトは
こちらから



紹介動画は
こちらから

